

船橋市立医療センターNews No.31

●発行年月日/平成29年1月1日 ●編集/船橋市立医療センター広報委員会 ●発行責任者/院長 高原 善治
〒273-8588 船橋市金杉1-21-1 ☎047-438-3321(代) <http://www.mmc.funabashi.chiba.jp/>



「銀閣寺」当院職員撮影

2017年 新年を迎えて

船橋市立医療センター院長 高原 善治



明けましておめでとうございます。昨年は、熊本や鳥取の大地震があり、災害に対する意識がさらに高まった年でした。当院でも、船橋地区の災害に備えて平成28年8月28日に船橋市総合防災訓練の一環として、病院としての対応訓練を行いました。一方、他の地域の災害に対しては、発生直後に駆けつけ医療活動を行うDMAT（災害派遣医療チーム）を組織しています。日本DMATは阪神・淡路大震災での初期医療体制の遅れが問題となったことを契機に、平成17年4月に厚生労働省により発足しました。当院では講習や訓練を受け平成20年に結成し、以後チームの充実を図り活動しています。

また当院は地域がん診療連携拠点病院に指定されています。その一環として平成22年1月より緩和ケア病棟を開設しました。がん患者さんや家族の皆さんの身体的、精神的問題を癒すところです。現在の医療はチーム医療が重要となってきていますが、緩和ケア病棟でも医師、看護師、理学療法士、医療ソーシャルワーカー（MSW）、栄養士たちがチームを組み、各々の専門性を活かした診療を行っています。今後は在宅療養に向けて、院外のチームとの連携をさらに進めていきたいと思っています。

今年もいろいろな部門、診療にチーム力をさらに発揮し、質の高い医療を目指していきます。

目次

特集 緩和ケア病棟ってどんなところ?.....	2~3	全国自治体病院学会/公開医療講座.....	6
医療講演会と相談会/成果発表会.....	4	救命救急センターの現場から/お知らせ/看護師募集.....	7
当院のDMATチームを紹介します/研修医のつぐやき...5		外来担当医師一覧表.....	8

緩和ケア病棟ってどんなところ？

緩和ケアは、がん患者さんの痛みや苦しさなどの身体的症状や、気持ちのつらさあるいは経済的な心配など“がんに伴うあらゆるつらさ”を軽くするために患者さんやご家族と主治医、看護師などが力を合わせて取り組む協同作業です。これはがんと診断されたその時から始まります。外来や在宅では症状の緩和等の治療が難しいと感じた場合は緩和ケア病棟に入院していただきます。緩和ケア病棟ではその人に合ったきめ細やかなケアを行うことができるため、患者さんは症状の軽快と共に気持ちの安らぎを感じることができるでしょう。入院時の状況は様々ですが、病状が重い場合に限らず、ご家族の介護疲れなどにも対応しますので気軽にご相談ください。当院の緩和ケア病棟スタッフは、常に患者さんにご家族の訴えやご意向に十分に耳を傾け、何よりも“ここに入院して良かった”と言ってもらえるよう心掛けています。安心してお任せください。



緩和ケア内科部長 多部田 弘士

緩和ケア病棟は、一般の病棟と違い積極的な治療は行いません。患者さんにご家族のお身体や心の痛みを取り除くお手伝いする病棟です。静かな環境で、自分だけの時間や、家に近い環境でご家族と過ごす時間を持つ空間をご提供します。

当病棟のお部屋はほとんどが個室です。個室では、消灯や面会時間は自由、大切なご家族のワンちゃんや猫ちゃんも面会ができ、希望すればお酒を飲むことも可能です。ささやかですが季節にあわせた行事も行っています。

私たちは、患者さんにご家族のどのように過ごしたいという希望に添えるよう対応していきます。また、ただ療養するのではなく、人生の中で大切にしてきた人、物、事との関係に思いをよせることができるよう、患者さんやご家族のお話を十分に伺う時間を持つことを日々心掛け、わかりやすい説明を行い、小さなことでも希望や楽しみを見いだせるようお手伝いいたします。

スタッフは、精神看護専門看護師、緩和ケア認定看護師をはじめ、看護師経験5年以上のエキスパートばかりです。また、がん性疼痛認定看護師とも協力して、お身体の痛みやたるさ、息苦しさなど患者さんに伺いながら穏やかな時間をつくるよう努めてまいります。

緩和ケア内科病棟 副師長 白石 文



緩和ケア病棟では、今年度から退院支援看護師が活動しています。「家に帰りたい」「最期は家が良い」といった患者さんのご希望や、「家で一緒に過ごしたい」といったご家族の願いを大切に、退院調整看護師や、医療ソーシャルワーカーといった多職種と連携し、退院支援を行っています。

限られた時間の1日1日を大切に、ご家族との時間を共有する場を整え、患者さんやご家族の希望に添えるようお手伝いしていきますので、考えや気持ちをお教えてください。

専従として活動し始め、患者さんやご家族からお力をいただくこともあります。精一杯頑張りますので、よろしく願いいたします。

緩和ケア内科病棟 退院支援看護師 熊澤 いづみ

栄養管理室では食事のお手伝いをしています。皆さんにはあまり知られていませんが、当院の病院食は一般的な食事（常食）の他にも症状に合わせて、口内炎などに対して刺激の少ない食事や、つるんと飲み込みやすくした食事、デザートや果物や汁物のみの食事、定食スタイルではない軽食のような食事など様々な種類を用意しています（詳細は当院ホームページの病院食の案内をご参照ください）。量や嗜好などのご相談も医師の指示の範囲で可能な限り対応しています。また、退院後の食事などのご相談もお受けしますので、お気軽に病棟スタッフへお申し出ください。

栄養管理室 室長 松原 弘樹



左から藤倉看護師長、精神看護専門看護師菅原さん、緩和ケア認定看護師清野さん、がん性疼痛認定看護師杉森さん

リハビリテーションは「つらい」「痛い」などのイメージがあるかもしれませんが、緩和ケア病棟でのリハビリテーションは少し異なります。足の循環を良くして浮腫みを減らしたり、ストレッチを行うことで足が楽になったり、楽に動ける方法を一緒に考えたり、外出や外泊、自宅に戻るときのために必要な道具を考えたりと、様々なお手伝いをしています。

もちろん、筋力が低下しないような運動をして歩く練習もしますが、患者さんやご家族の負担にならないように、目標や訓練内容も相談しながらリハビリを進めていきます。どんどん話しかけてください。おしゃべりもリハビリテーションの一つです。

リハビリテーション科 梅田 真理

当院の緩和ケア病棟がオープンして6年が経ちました。

現在スタッフは、各診療科担当医師および看護師21名（精神看護専門看護師1名、緩和ケア認定看護師1名を含む）が日々患者さんに寄り添いケアさせていただいています。がんの患者さんの抱える痛みやだるさなどの身体のつらさ、気持ちの落ち込みなどの心のつらさを和らげ、その人らしく過ごせるようにサポートしています。

また、患者さんを献身的に支えるご家族の皆さんの心身の安寧をご支援します。患者さん・ご家族双方にとってより良い環境で療養生活が送れるようお手伝いいたします。

医師や看護師をはじめ多職種（がん性疼痛認定看護師、医療ソーシャルワーカー、退院支援看護師、管理栄養士、理学療法士）と連携し、住み慣れた自宅で安心して過ごせるよう在宅療養に向けてのサポートもしています。

緩和ケア内科病棟 スタッフ一同



西図書館とコラボレーション！

～医療講演会と相談会を実施しました～

当院では、市民の皆さんに医療や健康への関心を高めていただくために、船橋市西図書館と連携して医療情報を提供する取り組みをはじめました。今回は開館記念イベント当日の様子と今後の予定を紹介します。



10月21日（金）西図書館開館記念イベント

○医療講演会「がんに対する新しい免疫療法」

平野聡腫瘍内科部長

一般的ながん治療の話から、専門である抗がん剤治療の話、そして新しい治療である免疫療法（免疫チェックポイント阻害剤）について講演しました。医師との距離も近く、より身近に講演を聞いてもらえたのではないかと思います。

○相談会

当院の医師、看護師、薬剤師、管理栄養士が、手術後の食事の心配や緩和ケアに関することなど、個別に対応させていただきました。

今後の講演会と相談会の予定

日付	演題	講師
1/19（木）	ロコモティブシンドロームのはなし	三村雅也整形外科部長
2/16（木）	飲み薬で治そう！C型肝炎	水本英明消化器内科部長
3/16（木）	消化器系がん（胃・大腸・膵）の治療の話	夏目俊之消化器外科部長

講演後、関連する医療スタッフが相談会を行います。ぜひご参加ください。詳細は、図書館HPや広報ふなばし等でご確認ください。

こちらもご利用ください

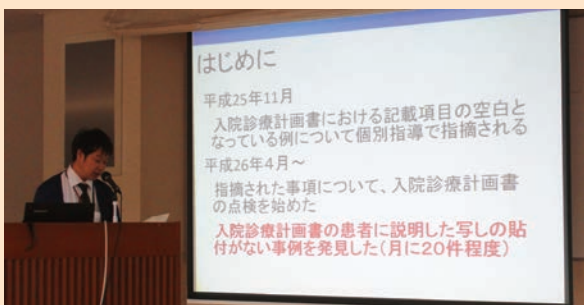
当院図書室司書が選定した図書を揃えた医療情報コーナーを常設しています。また、お持ち帰りいただけるがんに関するパンフレットも多数揃えています。

病院に行かなくても、身近な図書館で医療情報が得られる、講演が聞ける、相談できるなど、病気の方だけでなく、健康な方にとっても身近な存在の医療センターになれるよう、今後もさまざまな取り組みを行っていきます。



医療連携・患者支援センター がん相談支援センター 石川 晴子

平成28年度 成果発表会を開催



平成28年12月12日（月）に成果発表会が開催され、年度当初に設定した目標に対する成果を部署ごとに披露しました。今年度は、入院診療計画書の写しを電子カルテ上に100%貼付することを目標として、早期からの点検や未貼付理由の記載依頼等に取り組み、目標を達成した医事課が最優秀賞を受賞しました。



※この「医療センター News」のバックナンバーは当院ホームページでご覧いただけます。

当院のDMATチームを 紹介します

DMAT（災害派遣医療チーム）とは、災害急性期に被災地に迅速に駆けつけ、応急治療・搬送・トリアージなどの災害時医療をはじめ、被災地内の病院支援などの活動を行う専門的な訓練を受けた医療チームです。

当院では、現在医師6名、看護師5名、業務調整員3名、計14名がDMAT隊員として活動しています。また、当院が被災地域となった場合にはDMAT活動拠点本部となり、東葛南部保健医療圏の統括、支援DMATの受入と派遣、傷病者受入、広域搬送等の役割を担います。

派遣実績としては、平成27年9月11日から12日にかけて茨城県における豪雨災害で筑波メディカルセンター DMAT活動拠点本部の支援を行いました。具体的には、水害で孤立した病院の患者さんを転院させる搬送調整を行いました。

【統括DMATを取得して】

先日、統括DMAT研修を受講してきました。統括DMATとは、通常時に、DMAT登録者への訓練、研修、都道府県等の災害医療体制に関する助言等を行い、災害時には、DMAT本部の責任者として活動する資格を有します。

当院は、東葛南部保健医療圏における重要な災害拠点になります。日頃から訓練や研修を通じてDMAT、院内防災体制、地域の医療機関との連携を強化して大災害に備えていきます。

統括DMAT 医師 佐藤 やよい



研修医の つぶやき



初期臨床研修医 1年 上田 浩太郎

今年度より初期臨床研修医として当院に勤務しています。

このつぶやきを書いている今日は11月にして初雪が降っています。東京で初雪が11月に観測されたのは54年ぶりだそうです。小学生の頃は雪が降っても半袖半ズボンで登校していたことを思い出しました。

当院の1年目の初期臨床研修医は僕を含めて12人いるのですが、先日この12人と2年目研修医の有志2人の14人で群馬県の水上へ旅行に行ってきました。極寒の中ラフティングとキャニオニングをして、冷え切った体を温泉で温めて、夜はBBQをするというなんとも素敵な旅だったのですが、少しはしゃぎすぎて疲れたせいか翌朝の集合写真では皆揃いも揃って人相が著しく悪いです。（写真参照）

普段はそれぞれの科での仕事や勉強に打ち込む日々で、中々集まって過ごすことはないので、皆で過ごした時間

は良いリフレッシュとなり、また一層医療に勉強に打ち込もうと思えるような旅行でした。

さてプライベートの話はこれくらいにして…初期臨床研修医として

当院で働き始めてから半年強が過ぎたわけですが、毎日医学の奥深さや興味深さを感じる日々です。

日々の診療の中で研修医は知識や技術など上級医の先生方に敵わない面が多々ある一方、時間があるのでとことん患者さんと向き合ってお話を伺ったり、心配事を話していただくことなどがあります。そういった中で患者さんの言葉ではっと気づかされることや、疑問や困りごとを共に解決しようとする中で学ぶことが沢山あります。そしてそういった経験は非常に力にも励みにもなると思っています。

勉強途中の身ではありますが、少しでもお困りの患者さんのお力になればと日々一生懸命取り組んでいますので、疑問やお困りのことなど何でもお話しいただければ幸いです！



当院は省エネに取り組んでおります。ご協力お願いいたします。

全国自治体病院学会 in 富山に参加

平成28年10月20日・21日に開催された第55回全国自治体病院学会に看護局5名、薬剤局2名、放射線技術科1名、栄養管理室1名、事務局8名の計17名が参加し、全国から集まった自治体病院関係者を前に、ポスターセッション形式で発表しました。



分科会	タイトル	演者
看護・看護教育	「プリセプター役割自己評価尺度」を用いたプリセプター支援方法の模索	大木 千春
	がん終末期にあるひとり暮らし高齢者の在宅療養に関する現状調査～訪問看護師の視点から～	谷 みどり
	入院前看護師説明におけるiPad活用の効果	齋藤 奈緒
臨床医学	心房細動に対する経口抗凝固療法の実臨床～高齢者にフォーカスを当てて見えてくる現実～	市原 幸洋
栄養	当地区の地域医療介護の連携について	松原 弘樹
地域医療・連携・福祉	退院支援専任看護師の病棟配置の現状と効果について	稲垣 麦野
	病棟看護師が行う退院支援の実態	飯田 友則
放射線	至適造影剤量決定因子として除脂肪体重を用いるための脂肪量測定法の検討	坂入 理恵
薬剤	薬物中毒分析業務<これまでの16年間>	鐘司 光貴
経営・管理	船橋市立医療センターの経営改善に向けた取り組みと効果	鷯澤 美紀
	診断群分類別の診療報酬による収入額の分析	野村 慎
	費用削減の取り組みについて	新村 岳人
	滞納者に対する支払督促の実施について	出戸 尚久
	医師事務作業補助者によるNCD登録の取り組みと医師の業務負担軽減の評価	石川 祐子
	医師事務作業補助者による病棟回診カルテ入力代行の教育体制確立への取り組み	宮成 典子
	医師事務作業補助者の回診記録入力補助におけるラダーチェック評価の活用	及川 知子
船橋方式 ドクターカーの運用について	浅川 一	

「よく眠れていますか？ 第28回 公開医療講座 ～睡眠の大切さと良眠のコツ～」を開催しました



10月13日（木）に市民文化創造館（きらら）にて、宇田川雅彦精神科部長を演者とした公開医療講座を開催しました。

今回の講座では、良い睡眠を得るために注意すべきこと等についてイラストや写真でわかりやすく解説しました。宇田川部長は「良い睡眠を得るためには生活習慣全体を見直すことが重要です。眠れない時は寝る時刻や睡眠時間にこだわり過ぎず、眠気が強くなったら寝床に向かい、起床時刻を毎朝同時刻にしましょう。また、眠るために飲酒することは避けましょう。不眠症で睡眠薬を服用する場合には、自分の判断で服用を中止したり、量を増やしたりせず、医師に自身の状況をきちんと伝え、医師の指示に従い、正しく睡眠薬を服用することが重要です。」などと語りました。



病院ボランティア（患者さんの案内や図書整理など）を募集しています。詳しくは、医事課まで

救命救急センターの現場から

～窒息 (Choking) ～

明けましておめでとうございますという言葉とともに救命救急センターでは窒息の患者さんが増加します。食べ物や異物が気道（空気の通り道）に詰まると窒息が起きます。特にこの時期は日本の文化としてお餅を食べる習慣がありますので、高齢者のお餅による窒息、また重度の場合、心肺停止となって搬送されてくる方がいらっしゃいます。

窒息が起きた場合、軽度であれば自分で声を出せたり、咳をしたりすることが出来ますから、自分で窒息したものを吐き出す努力をしてください。窒息が重度の場合、音のない咳、言葉が出せない、呼吸が出来ない、蒼白になるなどの症状を伴います。また両手で頸部をつかむしぐさは窒息のサインです。この場合、そばにいる人がハイムリッヒ法（腹部突き上げ法）を行う必要があります。傷病者が成人あるいは小児の場合、腹部に両腕を回し、握りこぶしを作って親指側をへその上方に置きます。もう一方の手でこの拳を握り素早く傷病者の腹部上方に突き上げます。異物が出るか意識がな

くなるまで勢い良く突き上げを継続してください。もし意識がなくなったら、傷病者を仰向けにし、すぐ胸骨圧迫から心肺蘇生を実施してください。胸骨圧迫で異物が動いて呼吸が出来るようになるかもしれません。乳児では対応法が少し異なりますので、またの機会にお話ししたいと思います。



窒息のサイン

大事なことは窒息にならないようにすることで、そのためには、お餅を細かくして少しずつ食べるなどして喉に詰まることが無いよう十分注意して食べてください。また小さいお子さんではピーナツ（枝豆）が窒息の原因となりますので、安易に食べさせない方が安全です。

救命救急センター長 境田 康二

公開医療講座 次回のお知らせ

第29回 超急性期リハビリテーションを紹介します ～早くからリハビリをする理由～

日時 2月2日(木) 14:30～15:30
講師 梅田 真理(リハビリテーション科副技師長)
会場 市民文化創造館(きらら)
参加費 無料
定員 当日先着190人
問い合わせ 医事課

ぜひご参加
ください

心臓病教室のお知らせ

日付	演 題
1/12 (木)	【特別講演】脳卒中の話
2/2 (木)	①危険な不整脈とは？ ②心臓の検査について
3/2 (木)	①心不全って何？～心不全と運動～ ②自宅でできるセルフケア

時間 13:30～14:30 (受付13:00～)
会場 D館3階講義室 参加費 無料
講師 当院スタッフ(医師、看護師ほか)
問い合わせ 医事課

平成28年度 募集概要 看護補助者 (パート) 募集

- 資格/特になし
- 時給/1,030円
- 勤務時間等/8～18時のうち当院が指定する8時間(実働7時間、休憩1時間)
土日祝日、年末年始を含む週5日

※看護師を対象とした病院説明会を開催しています。

※詳細は当院ホームページ (<http://www.mmc.funabashi.chiba.jp>) をご覧ください。



外来担当医師一覧表

平成29年1月1日現在

		月	火	水	木	金	備考
内科	新患	徳長 鎮(交替医)	中村(俊)/柳澤	下山 立志	(交替医)	巴山紀子・廣石拓真	新患の(火)は第1・3・5中村(俊)、第2・4柳澤
	呼吸器	中村 祐之 藤田 哲雄	天野 寛之 中村 純	廣石拓真(交替医) 巴山 紀子	中村 祐之 中村 純	多部田弘士 天野 寛之	消化器の(火)関、(水)安藤/石垣、(木)水本/東郷は消化器
	消化器	水本 英明	安藤 健 関 厚佳	東郷 聖子 安藤 健/石垣飛鳥	関 厚佳 水本英明/東郷聖子	石垣 飛鳥 小林 照宗	内科からの予約患者のみ
	代謝 腫瘍	岩岡 秀明 平野 聡	下山 立志	中村 俊介	下山 立志	岩岡 秀明 平野 聡	腫瘍は、肺がん、縦隔腫瘍、原発不明がんが対象
心臓血管セン	循環器内科 予約	内山 貴史 稲垣 雅行	福澤 茂・黒岩信行 沖野 晋一	岩田 曜 稲垣雅行・内山貴史	黒岩 信行	福澤 茂	※(水)は第1・3・5稲垣、第2・4内山
	新患		[交替医]	[交替医]	関根有希子	[交替医]	
	心臓血管外科	[手術日]	高原善治・茂木健司	[手術日]		[手術日]	午後1時30分から ※第1・3・5高原 ※第2・4 茂木
緩和ケア内科				[交替医]	[交替医]		午前9:00~ 予約患者のみ
精神科	新患		宇田川雅彦	宇田川雅彦	宇田川雅彦		新患は事前予約が必要(電話も可)
	再来	宇田川雅彦	宇田川雅彦	宇田川雅彦	宇田川雅彦・岡和田景子		(水)岡和田 午前のみ
小児科		高橋 香 武井 悠	佐藤 純一 内山 薫	丹羽 淳子 [交替医]	木谷 豊 竹本 直輝	伊賀 裕子 坂井 美穂	
外科	消化器・一般	宮崎 彰成 吉岡 隆文	夏目 俊之 佐藤やよい	丸山 尚嗣 野手 洋雅	田中 元 貝沼 修	宮崎 彰成	(月)松崎 午前のみ (水)丸山 午前のみ (水)吉原 午後のみ
	乳腺	松崎 弘志		松崎 弘志 仙波 義秀 吉原ちさと	金田 陽子	唐司 則之 松崎 弘志	
	新患	[交替医]	[交替医]	[交替医]	[交替医]	[交替医]	
整形外科		[交替医] 秋本 浩二 [手術日]	池之上純男 高瀬 完 染谷 幸男	三村 雅也 鮫田 寛明 新保 純	[交替医] [手術日]	[交替医] [手術日]	(火)・(水)は予約患者のみ(紹介状ありは可)
形成外科		[手術日]	薬丸 洋秋	薬丸 洋秋	[手術日]	内田 龍志	
脳神経外科		内藤 博道 新美 淳 根本 文夫	[交替医] [手術日]	畑山 和己 内藤 博道	安間芳秀/交替医 森脇 拓也 [手術日]	根本 文夫 畑山 和己	(月)根本、(水)内藤、(金)畑山は、新患者のみ (木)安間は第1・3・5、第2・4は交替医
呼吸器外科		内田 修 一ノ瀬修二	内田 修 一ノ瀬修二	[手術日]	木下 孔明 内田 修・一ノ瀬修二	[手術日]	
皮膚科		川島 秀介 山崎由里子	宮川 健彦 山崎由里子	川島 秀介 山崎由里子	川島 秀介 宮川 健彦	川島 秀介 山崎由里子	予約患者のみ(紹介状ありは可)
泌尿器科		武田 英男 黄 和吉	佐藤 信夫 樋口 耕介	佐藤 信夫 [手術日]	佐藤 信夫 安藤 敬佑	佐藤 信夫 齋藤 心平	
産婦人科		斉藤 俊雄 佐々木直樹	森 麻子 [交替医] [手術日]	斉藤 俊雄 佐川 泰一 [手術日]	長嶋 武雄 [交替医]	佐々木直樹 長嶋 武雄 [手術日]	
眼科		小林 悠里 谷口 有子	松枝 美文 [手術日]	上原 七生 松枝 美文	上原 七生 小林 晋二	小林 晋二 谷口 有子	(火)・(水)は予約患者のみ(紹介状ありは可)
耳鼻いんこう科		小林 皇一 長坂 強	[手術日]	小林 皇一 長坂 強	[交替医] 派遣医師 [手術日]	小林 皇一 木村健太郎	
放射線治療科		岩井 祐磨	有賀 隆	小池 直義	有賀 隆	有賀 隆	完全予約制
麻酔科		[交替医]	[交替医]	[交替医]	[交替医]	[交替医]	午前9:00~11:00 予約患者のみ
歯科口腔外科		村野 彰行	[手術日]	村野 彰行	村野 彰行	村野 彰行	
特殊外来	女性専用(内科)			古池 織恵			予約患者のみ
	腎臓内科(内科)			梶原麻実子			午後1:30~ 予約患者のみ(電話も可)
	神経内科(内科)			大原 正裕			午後1:30~ 予約患者のみ(電話も可)
	ステントグラフト特殊(心外)		櫻井 学				午後1:30~
	ペースメーカー外来			[交替医]			午後1:00~
	小児循環器(小児)	佐藤 純一 竹本直輝(交替医)	村社 歩美	佐藤 純一			午後 予約患者のみ (火)は第2・4
	小児神経(小児)				林北見・牧野道子		午後 予約患者のみ 月1回
	小児腎臓(小児)				秋岡 祐子		午後 予約患者のみ 月2回
	小児アレルギー(小児)					下条 直樹	月1回 午前9:00~予約患者のみ
	小児外科(外科)				小松 秀吾		午前のみ(午後手術)
脳神経内科(脳神経外科)					東 美和	午前9:30~ 予約患者のみ	

担当医師は、状況により変更することがありますので、受診の際には当院のホームページ等でご確認ください。

※特殊外来の小児循環器、小児神経、小児腎臓、小児アレルギーの予約および予約変更は午後2時から4時の間に小児科外来へ電話してください。